

# 08 イベント情報

## ASTEC 2008 国際先端表面技術展・会議

2008年02月13日～02月15日  
東京ビッグサイト(東京国際展示場)  
主催:ASTEC 実行委員会

## コンパティンク・テクノロジー総合展 2008

2008年02月13日～02月15日  
東京ビッグサイト(東京国際展示場)  
主催:加工技術研究会

## 2008生産革新総合大会

2008年02月19日～02月21日  
パシフィコ横浜  
主催:日本能率協会

## 第32回地球環境とエネルギーの調和展(ENEX2008)

2008年02月21日～02月23日  
インテックス大阪  
主催:省エネルギーセンター

## 2008 NEW環境展 (N-EXP02008)

2008年06月03日～06月06日  
東京ビッグサイト(東京国際展示場)  
主催:株式会社日報アイビー

## 第24回日本国際工作機械見本市 JIMTOF2008

2008年10月30日～11月04日  
東京ビッグサイト(東京国際展示場)  
主催:社団法人 日本工作機械工業会

## ニューアース 2008

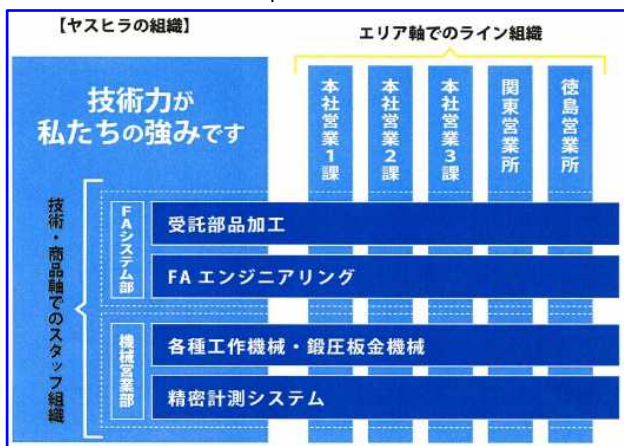
2008年11月26日～11月28日  
インテックス大阪  
主催:社団法人 日本産業機械工業会  
財団法人 地球環境産業技術研究機構



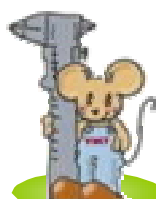
Machine Shop

# FAシステム部 始動

「FAシステム部は全社のすべてのお客様のご要望にお応えします。」  
昨年十月に社内組織を一新しました。ひとつは「営業企画室」を設置しホームページの毎週更新やブログの公開、また生産技術セミナーの充実など情報発信基地機能の強化を図り、そしてもうひとつが「FAシステム部」の新設です。産学連携の取組みとして近畿大学理工学部機械工学科 原田先生と協力関係を築き、難易度の高い試作部品の設計と受託加工を請け負い、その中で新技術への挑戦に常に取り組みうとしていきます。その経験をフィードバックし、小物部品の試作や設計から、省力化を提案できるライン設計まで幅広いニーズに、4人のベテランスタッフが対応しています。FAシステム部を従来の営業部門と機械営業部に追加したことにより、地域密着の「小回りのきくフォロワー体制」と、技術的信頼を得る「FAプロボイザル機能」を持ったエンジニアリング商社を目指しています。受託加工としては、板金加工・旋盤加工部品、マシニング加工品、ワイヤカット加工部品、樹脂加工のほか、表面処理やコーティングも当社の幅広いネットワークを駆使して迅速に対応できます。



左図は、当社のFAシステム部が中心となつて作成中のリーフレットの一部分です。5つの営業部門をFAシステム部と機械営業部が、「串刺し」にする形でお客様をサポートいたします。リーフレットは3ヶ月間に亘り細かな校正を繰り返したもので、まもなくお客様のお手元にも届けられます。どうぞご期待ください。



社長自ら  
ご苦労様です。



看板と花壇  
昨年暮れにかけて、立て看板を設置し玄関前の花壇と立て看板の下の花壇に花を新しく植え替えました。社員みんなで満開のときを期待して楽しい作業でした。  
ご来社の節には是非ご鑑賞ください。

## ISO 14001への取組み

当社は平成十六年三月にISO 14001の認証を取得し、今ではゴミの分別や節電、環境にやさしい商品の提案などの活動は四十三名の社員には当たり前になりました。また世間でもそれらに比較的常識的に扱われるようになりました。三年経てばマンネリ感も、と思われがちですが、当社では本社営業スタッフ全員がISO内部監査員の試験に合格し資格を持っており、鋭意努力し勉強を続け実践に繋げることが何より大切ですから。



「営業のコツ」 彼らに聞きました  
知識や現場感覚はお客様にはわかりません。わからない事は素直に聞くのが一番。一生懸命やると「そうかそうか」と丁寧に教えてくれます。(1年目/徳岡/25歳)  
そんな時はメーカーの営業さんに同行をお願いします。ヤスヒラさんなら、と 駆けつけてくれます。膨大な商品を全て覚えるのはまだまだ無理ですから。(半年/小林/25歳)  
技術屋さん相手ですから、男同士でしかできない話題で盛り上がる事も(笑)。そうならば気に入られた証拠。いい商売させてもらえます。(1年半/藤原/33歳)

## YMT フライベイトブランド パーソナルワゴン



YMT-002

昨年、創立70周年記念イベントのひとつとして発売しましたYMTオリジナルブランドのパーソナルワゴン。周囲を明るくするレモンイエローのデザイン色と取手がついて移動が楽々好評を頂いております。

## 編集室より

「どうしてもやりたいこと」があつて我儘を許していただいていた3年半。目的もますます叶い、住み心地の良い「我が家」への復帰、二度目の我儘を認めていただきました。私は工学部出身で文才は無く、恥ずかしながら常識にも疎いのですが字を書くのが好きでパソコンを触るのがこれまた大好きなもので。となれば私の仕事は天職として与えていただいたもの。ふたたび、YMTFを社内で発刊することとなりました。数年の間に「我が家」は随分と変わりました。社屋もきれいで大きく、若い人も増えて明るくなりました。正直を申し立て、これまでの記事内容はほとんどが安筆の執筆でしたが、今回は「よきに計らえ」と、結構勝手にさせていただきました。ですが、こんな隅々の記事でも安筆は全て目を通しますので手は抜けません。

**YMTF**  
マシンツール・フォーラム  
2008年1月1日号 VOL.60-No.7  
株式会社ヤスヒラ 営業企画室  
〒670-0981 姫路市西庄甲108  
TEL. 079-294-4000  
E-Mail : kikaku@yasuhira.com

営業企画室 室長 中川量夫

# MACHINE TOOL FORUM



## マシンツール・フォーラム

## 特集 FAシステム部始動!

Good Tool!  
Good Machine!  
Good Factory!

挑戦の中に  
感動ある未来を

謹んで初春のご祝詞を申し上げます。

皆様にはお健やかなる佳き新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。旧年中は格別のお引立てとご厚情を賜り、誠にありがとうございました。心より厚く御礼申し上げます。本年も倍旧のご愛顧とご交誼を賜りますようお願い申し上げます。



さて、振り返りますと昨年は「偽」の一字に象徴される一年で、穏やかな、和やかなニューズは少なく、自民惨敗なのに野党も何やら腰砕け、病と云って山積する難題から一目散の安倍さん、社保庁のデタラメ年金には舛添さんも頭を抱え込み、テロ特措法しかない福田さんは何も手につかず似合うのはオトボケ官房長官様、年金、薬害補償、拉致等々、どんだけ、あつても、ほつとけ、なんでもしょう。ゴルフ漬けの守屋夫妻も奥さんだけが腕を上げ、上田桃子が、スボーツで一番稼げるのがゴルフとあつて、かんの賞金女王。年の瀬には迷彩服防弾チョッキ男が銃乱射となれば米国並みの社会情勢、サブプライムで喘ぐアメリカを虎視眈々のアラブ油業、これでは不振は分かるが不審なのに不信だから腐心じゃあどうしようもないでしょう。

ただど元気のよいのは「マイナビ」「リクナビ」、って就職関連で、まさに学生さんだけが売り手市場の活況を呈しています。05年から回復して来た景況に相まって団塊世代の大量定年退職で内定は4月から始まるかと、「就活」なんて言葉、縮めればいってもんじゃあないよ」とCMの犬のお父さんがしゃべっていたようにだが、「何だか泣けてくる」のも今の日本ではみんな他人事なんですよ。

しかし当社は昨年70周年を迎えて、これを機に創業時の原点に返り、時代に即した新しい歴史を刻んで行く決意です。まずまず盛んと言っていただけですが、適進致します。「生産技術セミナー」は今年も毎月開催し、FAシステム部で高効率生産プランを提案し、自社ブランドYMT Tワゴンの発売等々、ともかく一生懸命に元氣印で頑張る所存です。

本年は、私共のビジネスが皆様にもっと喜んでいただけたらいいなと願っています。この一年をどうにか宜しくお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

年頭に際し、旧年中のご愛顧の御礼と併せて本年のお引き立てをお願い申し上げます。ひととせの皆々様のご多幸とご清栄を心よりお祈り申し上げます。

2008年1月元旦

株式会社ヤスヒラ  
社長 安平周一

### 生産技術セミナー

昨年は、恒例となった無料生産技術セミナーを全9回、延べ300名様のご来場を賜わり開催させていただきました。毎回のセミナーで、来場者様全員にアンケートのご協力をいただき、社内スタッフでPDCA(Plan, Do, Check, Action)を繰り返し、都度改善を重ねて来まして。今年はその蓄積した経験と反省から、よりお役に立てる情報発信ができるコンセプト作りを心掛けています。今年度は工場見学バスツアーや好評だった空圧機器の基礎知識の続編など趣向を凝らした計画を立てております。奮ってご参加下さいませ。何卒宜敷くお願い申し上げます。

技術セミナー スケジュール	
1月	切削工具・条件の勘どころ (機械加工における切削条件選定の基本)
2月	企業戦略コンサルティング (セトメカへの為の即時業績向上セミナー)
3月	マテハン・物流の動向 (工場内搬送の基本について)



### 天からのプレゼント

「無名の、技術者がいた。名前は田中耕一。京都の分析機器メーカーで、毎日、黙々と研究開発に取り組んでいた。根っからの技術者で、いつも開発の現場にいることを望んだ。管理職への昇進も拒み、博士号の取得への興味も示さなかった。そんな田中にある日、転機が訪れた。2002年12月10日。いつものように、京福電鉄の小さな車両に揺られて出社した田中に、信じられないニュースが飛び込んで来た。ノーベル化学賞受賞。受賞理由は、「生体高分子の同定および構造解析のための手法の開発」。日本人のサラリーマンとして初の快挙だった。...

「ジャー、ジャー、ジャー、ジャー、ジャー、ジャー、ジャー」と、プロジェクトX調で書き出したこの話、ごく普通の技術者がノーベル賞を受賞したとして、「記憶の方も多いと思う」もあろう、「ごく普通」なのは外見だけで、技術者としては傑出した人物である。

田中氏の業績は、たんぱく質を質量分析(MS)という技術で精度良く分析する技術の開発である。MSとは、試料を真空中でイオン化させ、そのときに発生する様々なイオンを検出して物質の同定や構造を行う手法であり、特に有機化学や生化学では重要な分析手法である。たんぱく質の分析もこのMSがよく用いられるのだが、分子量の大きいたんぱく質ではイオン化するのに高いエネルギーを必要とするため、イオン化の前にたんぱく質が分解してしまい、精度良く分析することが難しい。そんななか、田中氏は、特殊な熱エネルギー緩衝材を開発に成功し、世界で初めて見事にこの問題を解決したのである。

ここで、ひとつのエピソードがある。ノーベル賞に結びついたこの熱緩衝材、グリセロールとコバルトという物質からできているのだが、田中氏は、実はグリセロールなど使うつもりなど全くなく、本来使おうとしていた別の試薬と勘違いしてコバルトと混ぜてしまったという。せつかく作ったり、もったいないからダメ元で試してみよう、と考えたあたりは、「ごく普通の」会社員らしい。

(誠司)



ISO 14001 認証登録



株式会社ヤスヒラ

URL <http://www.yasuhira.com>

より環境にやさしく 企業の創造的なシステム構築をサポートします。



本社 〒670-0981 兵庫県姫路市西庄甲 108

本社営業部 TEL. 079-294-4000 FAX. 079-294-4001  
機械営業部 TEL. 079-294-4011 FAX. 079-294-4066  
管理部 TEL. 079-294-4300 FAX. 079-294-3993

FAシステム部 TEL. 079-294-6633 FAX. 079-294-3998  
徳島営業所 TEL. 088-683-1338 FAX. 088-686-1550  
関東営業所 TEL. 0276-20-4188 FAX. 0276-63-8806